介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
調査結果報告書
概要版

令和８年10月

柏　　原　　市

目　次

Ⅰ　調査の概要……1
　1　調査の目的……1
　2　調査対象……1
　3　調査期間……1
　4　調査方法……1
　5　回収状況……1
　6　調査結果の表示方法……1
Ⅱ　調査結果……2

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

本調査は、「第１０期柏原市高齢者いきいき元気計画策定」（計画期間令和９～１１年度）の策定にあたり、高齢者の生活実態やニーズ、高齢者の自立生活を阻む課題を把握し、計画づくりの基礎資料とするために実施しました。

2　調査対象

要支援認定者を含む 65 歳以上の市民 1,000 人

3　調査期間

令和８年３月１日～令和８年８月 15 日

4　調査方法

郵送配布、郵送・WEB 回収

5　回収状況

		配布数	回収数	回収率
全体		1,000件	651件	65.1%
	一般高齢者	909	601件	66.1%
	要支援１	52	22件	42.3%
	要支援２	26	14件	53.8%
	総合事業対象者	13	９件	69.2%
	要介護状態区分不明		５件	

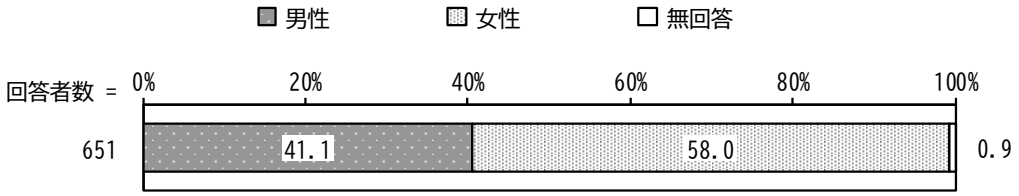
6　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が１桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ　回答者の属性

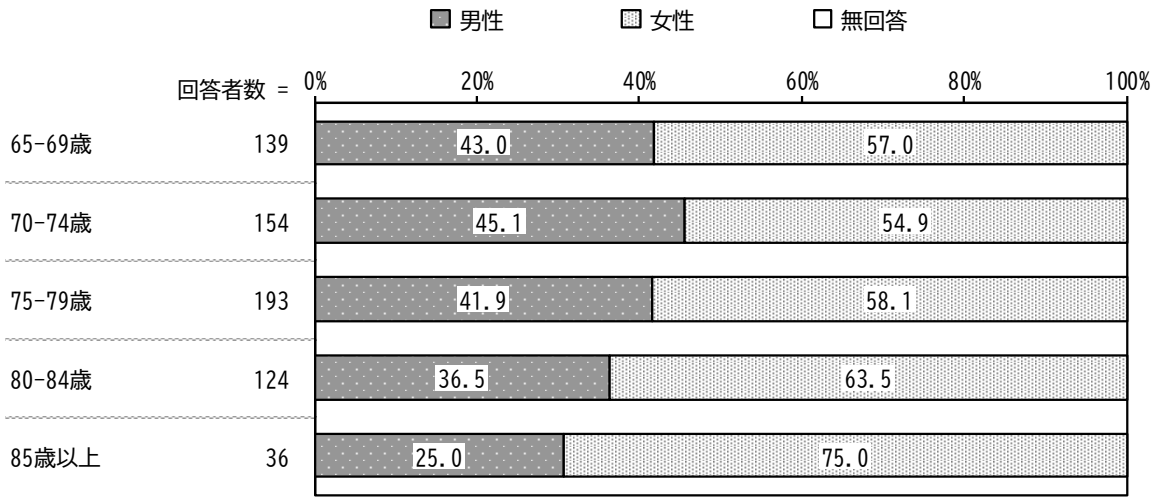
性別

「男性」の割合が 41.1%、「女性」の割合が 58.0%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、70-74 歳から 85 歳以上まで年齢が上がるほど「女性」の割合が高くなっています。



Ⅲ　調査結果

（１）運動器の機能低下

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で 14.7%が運動器の機能低下該当者となっています。

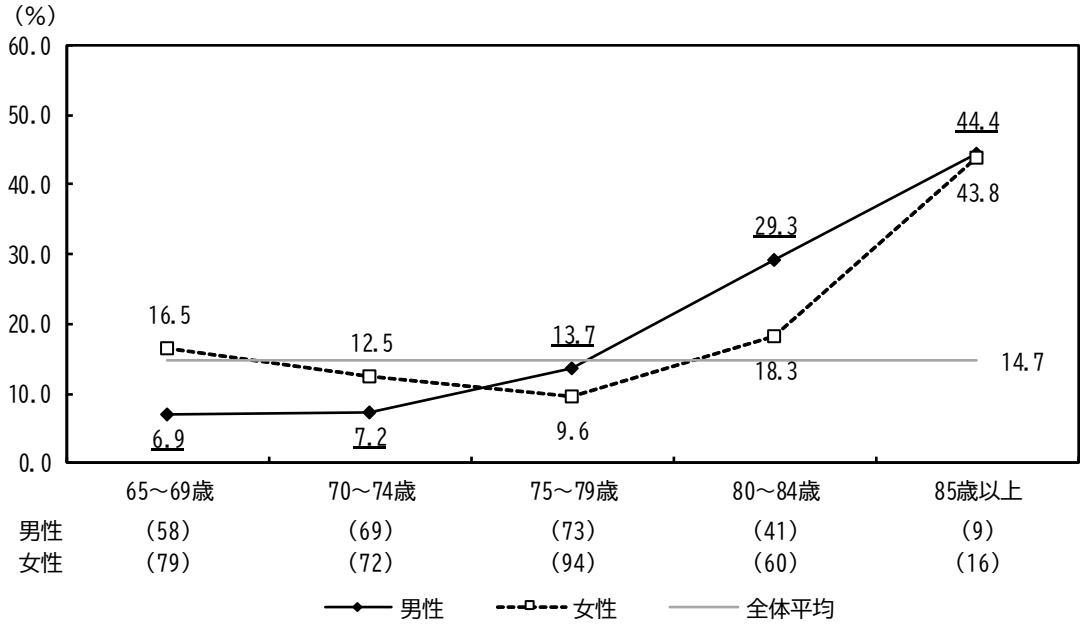
性別・年齢階級別にみると、女性では、85 歳以上で 43.8%と 80-84 歳に比べ 25.5 ポイント上昇しています。一方、男性では、75-79 歳、80-84 歳、85 歳以上で女性に比べ該当者割合が高く、80-84 歳で 29.3%と 75-79 歳に比べ 15.6 ポイント上昇しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問２（１）	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	３．できない
問２（２）	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	３．できない
問２（３）	15分位続けて歩いていますか	３．できない
問２（４）	過去１年間に転んだ経験がありますか	１．何度もある ２．１度ある
問２（５）	転倒に対する不安は大きいですか	１．とても不安である ２．やや不安である

【リスク該当状況】

図　性・年齢別　運動機能の低下している高齢者

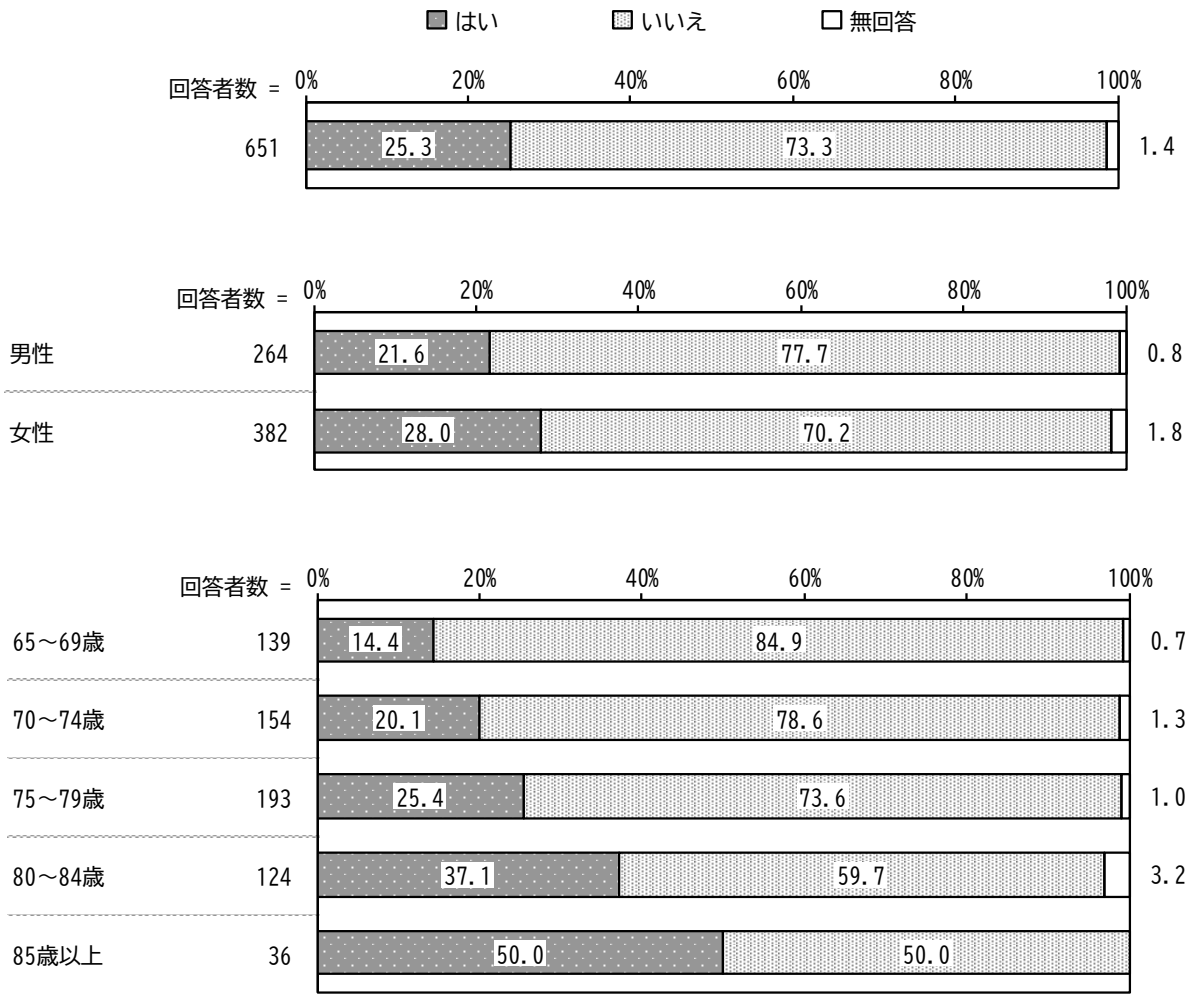


※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

（２）外出の状態

外出を控えている人は全体で 25.3%、となっており、男性より女性の方が、また年齢が高くなるほど外出を控えている人の割合が高くなっています。

図　性別、年齢別　外出を控えているか



（３）低栄養の傾向

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で 1.8%が低栄養リスクの該当者となっています。

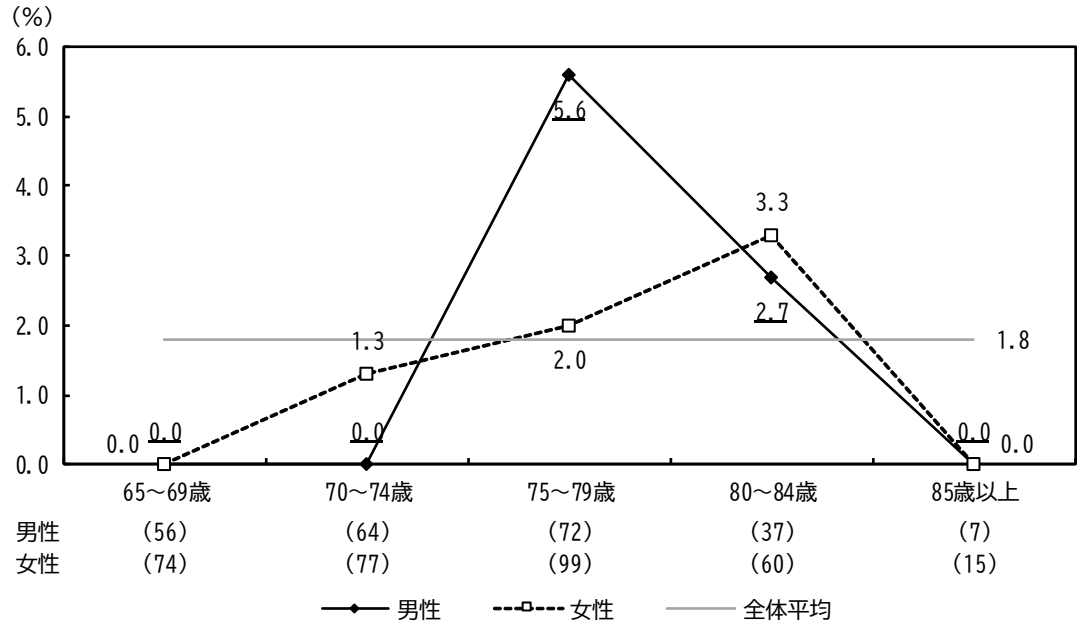
性別・年齢階級別にみると、女性では、70-74 歳、80-84 歳で男性に比べ該当者割合が高く、70-74 歳で 1.3%と 65-69 歳に比べ 1.3 ポイント上昇しています。一方、男性では、75-79 歳で 5.6%と 70-74 歳に比べ 5.6 ポイント上昇しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問３（１）	あなたの身長と体重をお答えください。	ＢＭＩ18.5未満
問３（７）	６か月間で２～３kg以上の体重減少がありましたか	１．はい

【リスク該当状況】

図　性・年齢別　低栄養状態にある高齢者



※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

（4）口腔機能の低下

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で 24.3%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

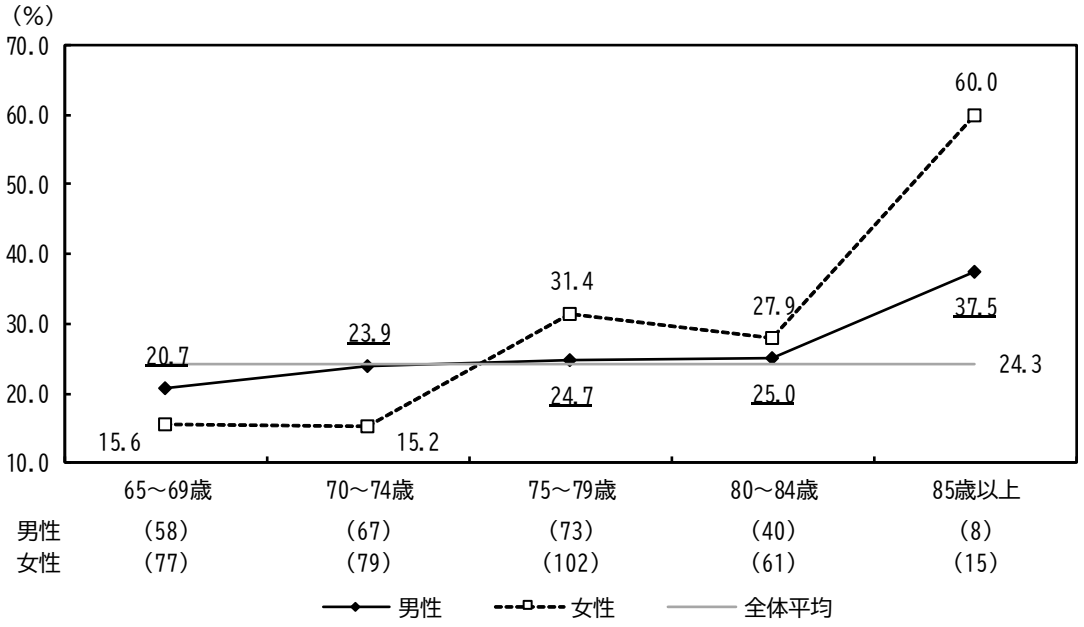
性別・年齢階級別にみると、女性では、75-79 歳、80-84 歳、85 歳以上で男性に比べ該当者割合が高く、85 歳以上で 60.0%と 80-84 歳に比べ 32.1 ポイント上昇しています。一方、男性では、85 歳以上で 37.5%と 80-84 歳に比べ 12.5 ポイント上昇しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問３（２）	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	１．はい
問３（３）	お茶や汁物等でむせることがありますか	１．はい
問３（４）	口の渇きが気になりますか	１．はい

【リスク該当状況】

図　性・年齢別　口腔機能の低下している高齢者

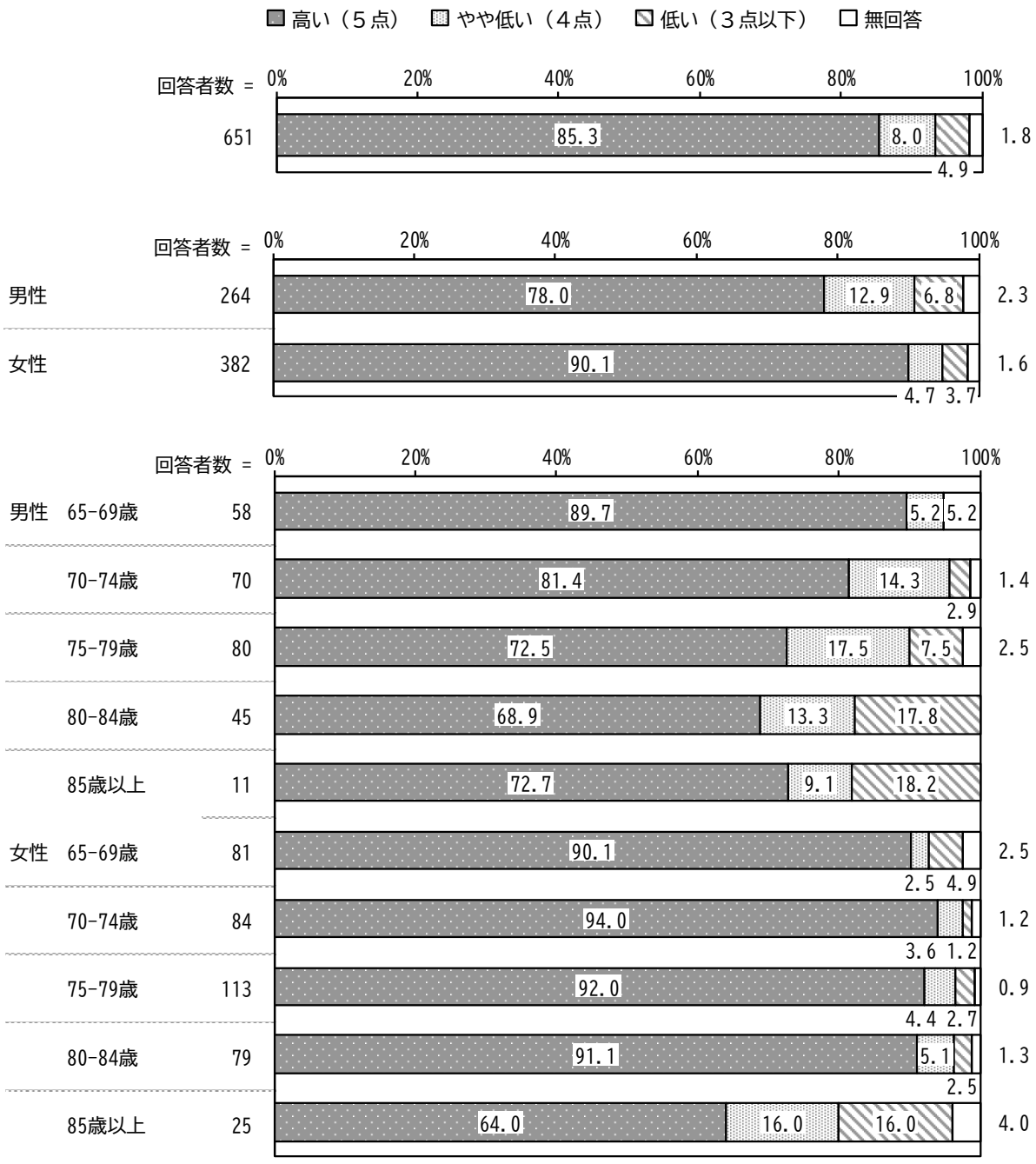


※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

（５）自立度の状態

手段的自立度（IADL）の評価が「やや低い（４点)」「低い（３)」を合わせた“低下者”の割合は、全体では 12.9%、性・年齢別にみると、女性 65-69 歳、女性 70-74 歳、女性 75-79 歳で「高い（５点)」、男性 70-74 歳、男性 75-79 歳、男性 80-84 歳で「やや低い（４点)」、男性 85 歳以上で「低い（３点以下)」の割合が高くなっています。

図　性別、性・年齢別　IADL が低下している高齢者



（6）うつ傾向

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で 37.9%が該当者となっています。

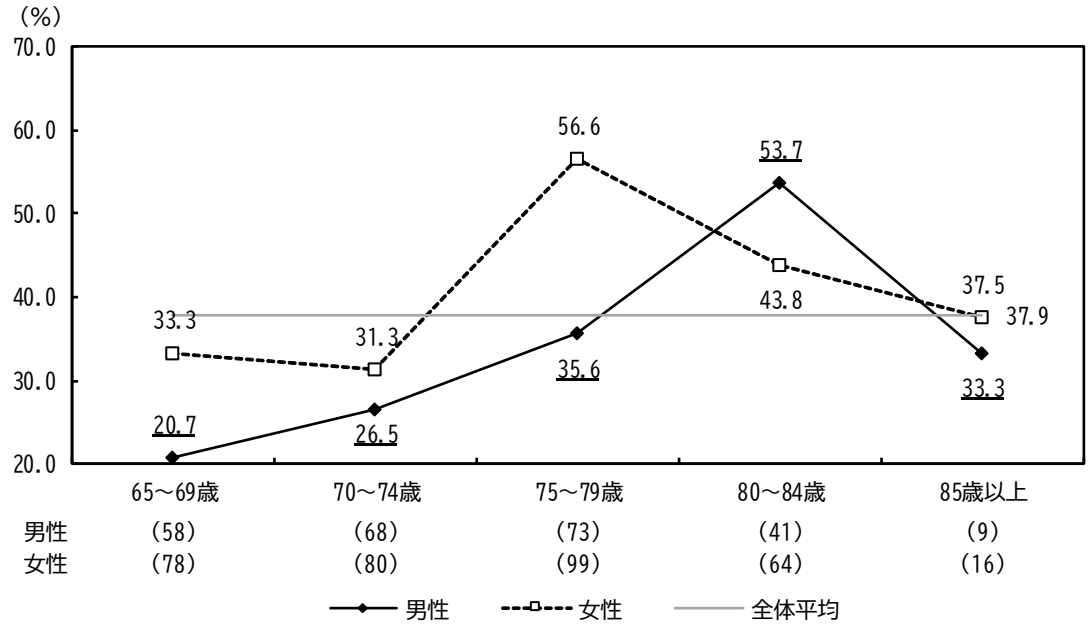
性別・年齢階級別にみると、女性では、80-84 歳以外の年代で男性に比べ該当者割合が高く、75-79 歳で 56.6%と 70-74 歳に比べ 25.3 ポイント上昇しています。一方、男性では、80-84 歳で 53.7%と 75-79 歳に比べ 18.1 ポイント上昇しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問8（3）	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1．はい
問8（4）	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1．はい

【リスク該当状況】

図　性・年齢別　うつ傾向の高齢者



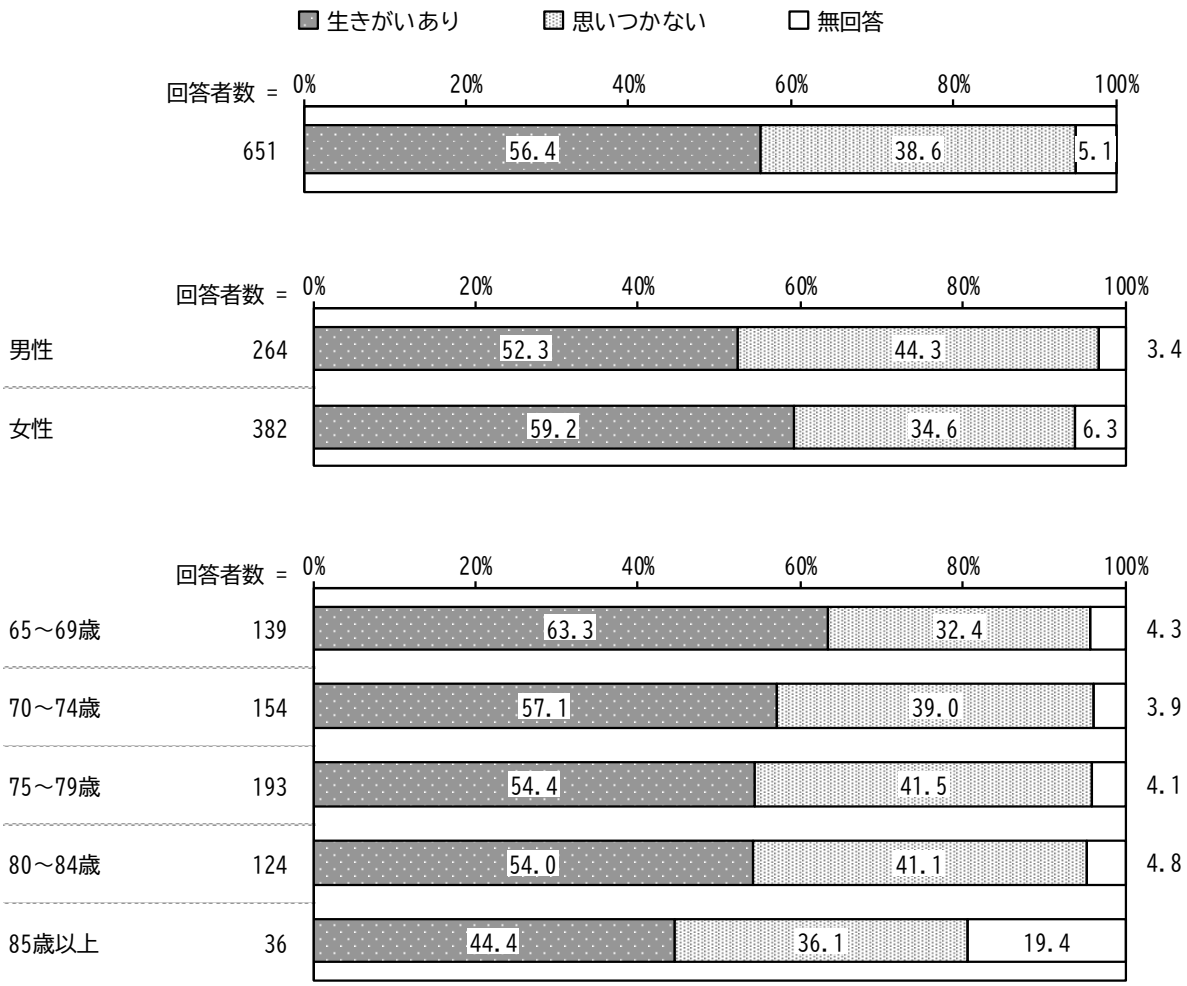
※要支援認定者を除く　　（　）内は有効回答数

（7）生きがい

「生きがいあり」の割合が 56.4%、「思いつかない」の割合が 38.6%で、性別にみると、男性で「思いつかない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、65-69 歳から 75-79 歳まで年齢が上がるほど「思いつかない」の割合が高い傾向にあります。

図　性別、年齢別　生きがいの有無



（８）地域活動の参加意向

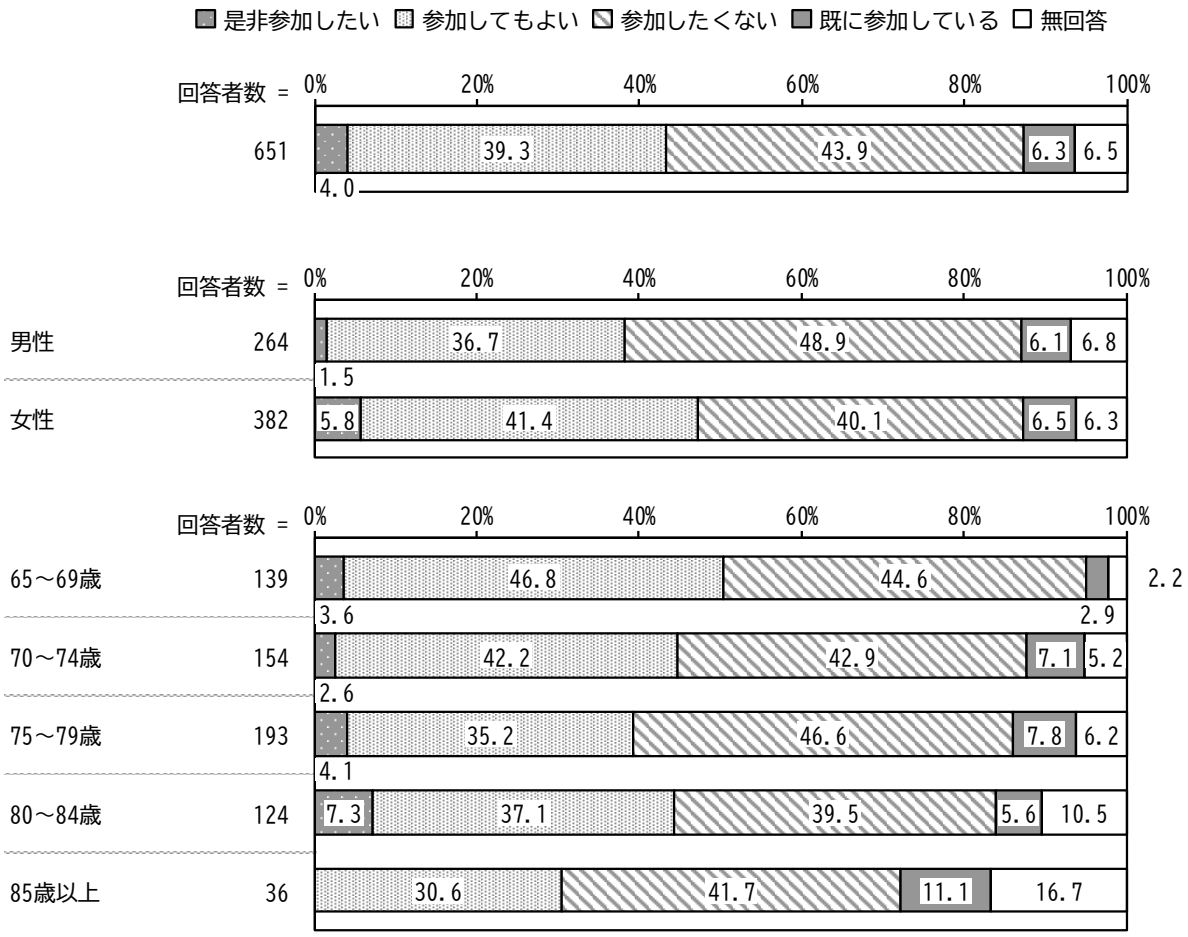
参加者としての参加意向

「参加したくない」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 39.3%となっています。

性別にみると、男性で「参加したくない」の割合が高く、女性で「参加してもよい」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるほど「既に参加している」の割合が高い傾向にあり、「参加してもよい」の割合が低い傾向にあります。

図　性別、年齢別　地域活動への参加意向（参加者として）



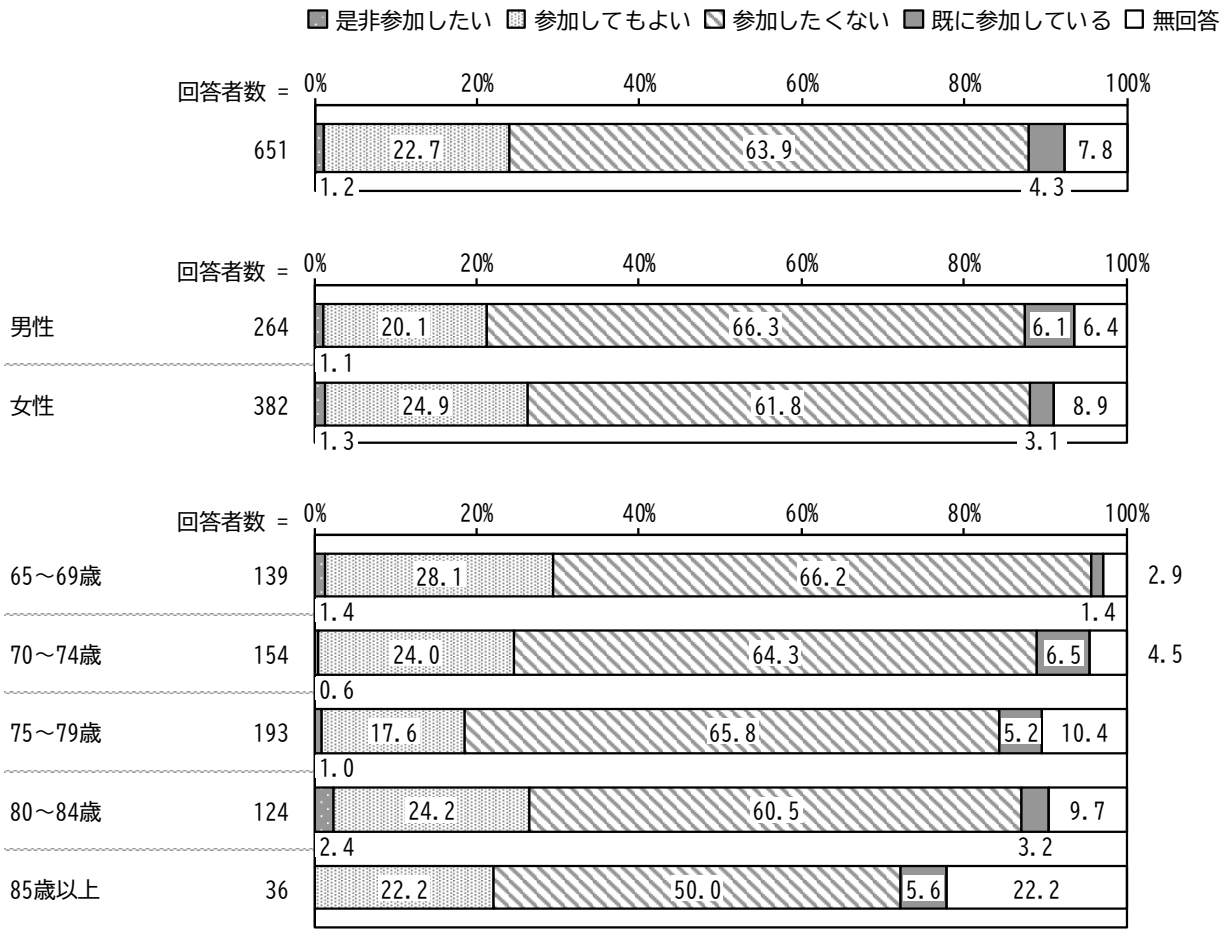
企画・運営としての参加意向

「参加したくない」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 22.7%となっています。

性別にみると、男性で「参加したくない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、85 歳以上から 75-79 歳まで年齢が下がるほど「参加したくない」の割合が高くなっています。

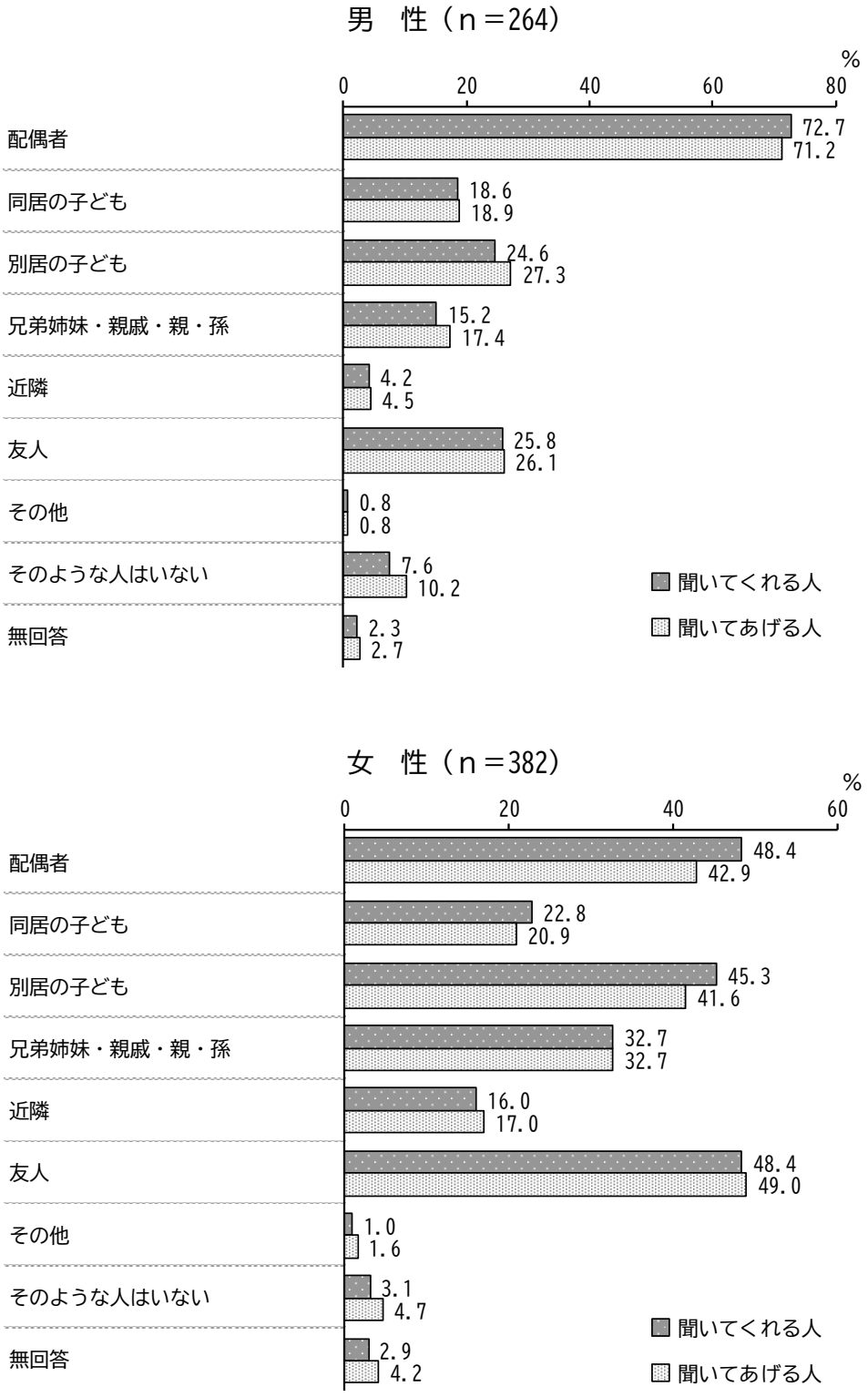
図　性別、年齢別　地域活動への参加意向（企画・運営として）



（9）たすけあいについて

男性は「配偶者」の割合が最も高く、女性は「配偶者」「友人」の割合が同程度に高く、次いで「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

図　性別　心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人

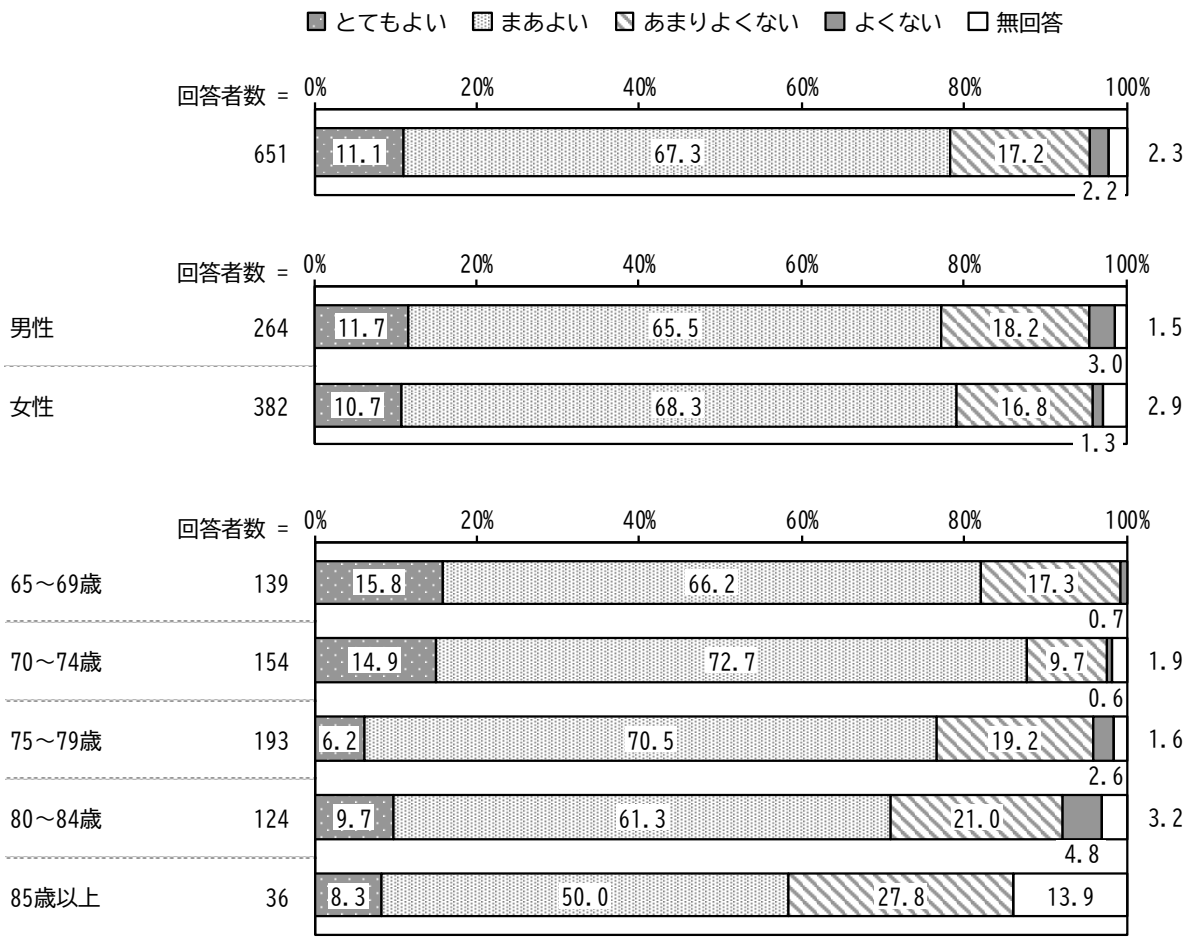


（10）主観的健康観

全体では「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 78.4%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 19.4%となっています。

年齢別にみると、85 歳以上から 70-74 歳まで年齢が下がるほど“よい”の割合が高くなっています。

図　性別、年齢別　主観的健康観



（11）幸福感

「８点」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「５点」の割合が 17.7%、「10 点」の割合が 16.7%となっています。

性別にみると、女性で「８点」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、80-84 歳から 70-74 歳まで年齢が下がるほど「５点」の割合が高くなっています。

図　性別　心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人

